

## 個の成長を促す教育的支援の在り方 2

— 自分から進んで，自分で取り組む姿を目指して —

佐賀県立北部養護学校 教諭 佐々木 貴賢 佐賀県立伊万里養護学校 教諭 持永 加代子

### 1 研究の趣旨

一人一人の教育的ニーズに目を向け、個々に応じた教育的支援を行う特別支援教育が推進される中、盲・ろう・養護学校の教育では、子どものもつ能力や可能性を最大限に伸ばし、自立し社会参加するための基盤となる「生きる力」を培うことをねらいとしている。そのために、子ども自身が、活動を成し遂げたときの満足感や成就感を味わい、「自分から進んで，自分で取り組む姿」という主体的な姿の実現が必要と考える。そして、子どもが自分のもつ力を発揮して、活動を成し遂げることができるようにするための教師の準備こそが、「個に応じた教育的支援」と考える。

しかし、実際には、教師の支援が子どもの必要としている支援とは異なるなど、「個に応じた教育的支援」が適切になされていないことが少なくない。

そこで、本グループでは、個の成長を促すために、子ども一人一人が「自分から進んで，自分で取り組む姿」を実現できるような支援の在り方を探った。具体的には、「支援の観点」についての研究を進め、その観点を明示した「支援リスト（試案）」の作成を行った。

### 2 研究教科・領域等

養護学校小学部の領域・教科を合わせた指導（生活単元学習）、中学部の自立活動において、研究課題の解決に向けて研究を行った。

### 3 研究の成果

#### (1) 「自分から進んで，自分で取り組む姿」の実現とその考え方及び教師の支援

子どもの主体的な姿を実現するためには、子どもが学校生活において「満足感や成就感」を味わうことが重要であり、その積み重ねが「生きる力」につながると捉えた（図1）。また、そのための教師の支援とは、「活動の主体者である子どもの思いを受け止め、置かれている状況を理解し、自分でできるような状況へと整えることで、子どもが自分のもつ力で取り組めるようにすること」であると整理し、自分でできるような状況へと整えることを重視した授業づくりに取り組んだ。

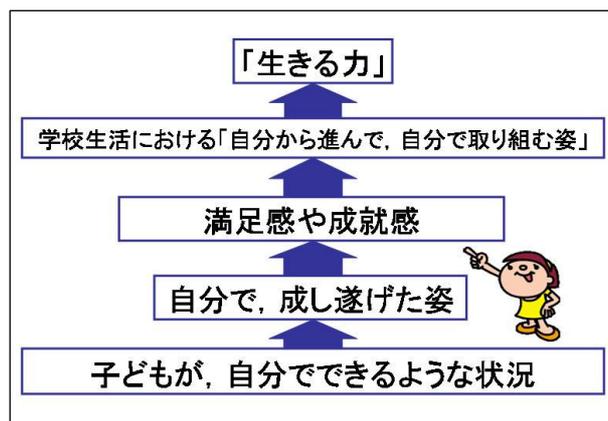


図1 主体的な姿につながる満足感・成就感

#### (2) 「支援の観点」と「支援リスト」

過去の授業経験や先行研究から「支援の観点」を考え、以下の流れで「支援の観点」の検討を進めた（次頁図2）。

生活単元学習では、授業経験や文献から7項目の観点を考え、授業1に臨んだ。授業における子どもの様子から、見通しに関する観点と場の設定に関する観点を整理し、9項目の観点を見出した。さらに、授業2では、支援内容を考えるに当たり、9項目の観点の中に関連性があるものが見られ

たので、それらを整理し、5項目とした。

一方、自立活動の指導では、文献から3項目の観点を考え、授業1に臨んだ。授業後、VTR分析により観点を整理を行った。その中で、より支援を具体化するために観点を細かく分け、さらに、反省点から不足していた観点を加え、10項目とした。その後、授業2を通して、支援の観点として適当でないと思われる2項目「子どものニーズに応じた場面設定」「スモールステップで段階的に指導」について検討し、最終的に8項目とした。

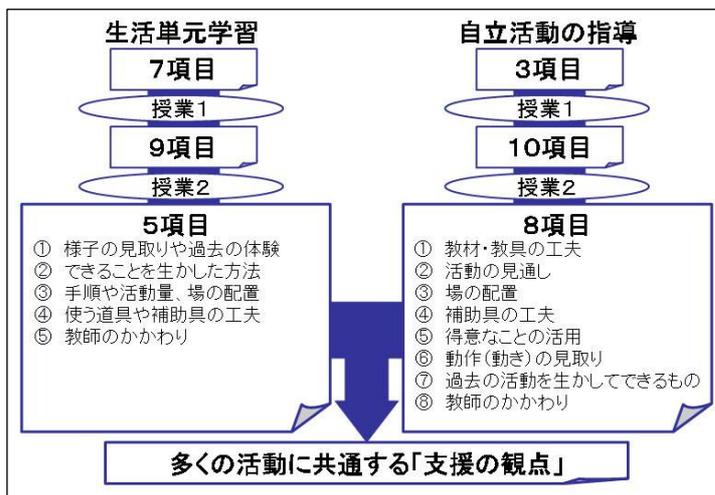


図2 「支援の観点」を見出す過程

それぞれの授業実践から得た「支援の観点」を比較検討し、図3のようにまとめた。

表1 「自分から進んで、自分で取り組む姿」を実現するための支援の観点

① できることを生かした方法	…子どもの様子の見取りや過去の経験から考えた、できることを生かした方法、できそうな方法
② 教材や道具、補助具の工夫	…使いやすい教材や、自分で安全に使える道具、活動を助ける補助具の工夫
③ 活動の見通し	…1日の生活や授業の流れ、1つの活動に関する見通しがもてるような工夫
④ 場の配置	…子どもが動きやすく、活動の流れが円滑になるような場の配置
⑤ 教師のかかわり	…教師も子どもと共に活動しながらの、子どもの思いに沿ったかかわり

これらの観点を基に、支援を具体化できるよう「支援リスト」を作成した(図4)。活動に対して、5項目の観点を通し、具体的な支援内容を考える。例えば、支援の観点①から支援内容を考える際には、子どもの様子や過去の経験を踏まえ、子ども自らができることを生かした内容を考える。

このようにして、教師が5つの「支援の観点」を共通に理解し、支援内容を考えることで、支援の充実を図ることができると考える。

【支援リスト】活動名:「 」 活動の期間: 月 日～ 月 日	
◆「自分から進んで、自分で取り組む姿」を実現するための支援	
① できることを生かした方法 …子どもの様子の見取りや過去の経験から考えた、で	
② 教材や道具、補助具の工夫 …使いやすい教材や、自分で安全に使える道具、活	
③ 活動の見通し …1日の生活や授業の流れ、1つの活動に関する見通	
④ 場の配置 …子どもが動きやすく、活動の流れが円滑になるような	
⑤ 教師のかかわり …教師も子どもと共に活動しながらの、子どもの思いに	
活動	支援の観点 ( )さんへの支援内容
	① できることを生かした方法
	② 教材や道具、補助具の工夫
	③ 活動の見通し
	④ 場の配置
	⑤ 教師のかかわり
	① できることを生かした方法

図3 支援リスト(一部抜粋)

#### 4 今後の課題

- (1) 今後、支援リストを活用した実践を積み重ねることで、「支援の観点」についての妥当性を、より詳しく検証していく必要がある。
- (2) 支援リストは、個別の指導計画の作成に当たって活用できると考えられるが、個別の指導計画との具体的な関連については、実践の中で検討する必要がある。

#### 《参考文献》

- ・ 文部省 『盲学校、聾学校及び養護学校学習指導要領解説』 平成12年 海文堂出版
- ・ 文部省 『盲学校、聾学校及び養護学校学習指導要領解説—自立活動編—』 平成12年 海文堂出版
- ・ 小出 進 監修 千葉大学教育学部附属養護学校 編著 『実践 教育課程—新しい学校生活づくりのすすめ』 1987年 学習研究社